

キク科コゴメギク属の一年草。北アメリカ原産とされる帰化植物。畑地、庭、路傍などに普通。茎はよく分枝し、背丈は15cm～50cmほど。葉は対生、単葉、卵形で3脈が目立つ。花は4～5mmほどの小さな花で、筒状花と舌状花を持つ。舌状花は普通5個、白色で舌片の先は浅く3裂する。

「掃き溜め菊」は「継子の尻拭い」や「尻糞葛」^{へくそかづら}、「大犬の陰囊」^{おおいぬふり}などと並んで植物の悪名の代表格とされるが、その花は愛らしい。鮮やかな黄色の筒状花の周りに白い小さな花弁が3～5枚ひるがえる。その花弁、先端が浅く切れ込み、きっちりとして並んでつくわけでもなく花弁と花弁の間が不規則に空いている。ちょうど歯が生えだした赤ん坊の口元に似て、なんとも可愛い。

牧野富太郎が東京世田谷の経堂の掃き溜めで見つけたからこの名をつけた、というのは良く知られている。しかし、今では「掃き溜め」というものがなくなり、このキクが生育していた場所がどんどこだったのかは想像するほかない。牧野がこのキクを見つけた当時、ゴミは市町村が収集していた。収集にあたっては敷地や公有地の一部などにゴミを集めていたが、そ

の集められていた場所が「掃き溜め」であった。そこに集められていたゴミはほとんどが台所から出る野菜くずや食べ残しであり、当然ながら、それらの生ゴミはビニール袋に入れて捨てられるわけではなく、そのまま、あるいは新聞紙や経木などに包まれて捨てられることになる。また、それらのゴミはすべてがきっちりとして回収されるわけではなく、しだいに固まって「良質」な有機物「畑」になっていたに違いない。ハキダメギクはそんなところに根を下ろしたのである。

牧野富太郎が見つけたのが「掃き溜め」であったということは、まさしく日本という新天地に来て栄養豊富な場所を見つけて生育地を拡大していく「掃き溜め菊」のたくましさの表れであった。

そんな風に考えてくると、あの不規則な隙間を開けて並んだ白い花弁は、赤子の口元ではなく、人生を逞しく生きてきて、何本かの歯が抜けた老婆の口元を想像するのであるがいかかだろうか。

統計データから

家計調査から見る食料消費支出 (家計調査年報 2019) 状況

家計調査は、総務省統計局が全国約8,000世帯の家計収支を調査し、家計調査年報として公表している。消費支出は、食料、住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、教養娯楽及びその他に大別されている。

2019年の二人以上の世帯(平均世帯人員2.97人)の消費支出は、3,520,547円(月平均29万3千円)で、そのうち食料支出は、消費支出の27.4%を占める。2000年との対比で見ると、消費支出全体では92.5%に支出金額が減少している、食料支出も99.1%と減少しているが、減少幅が小さく、生活必需品として消費支出に対する相対的な割合は高まっている。

食料消費支出のなかで、最も割合の高いものは外食で18.3%、特に調理食品13.3%は最も伸びが大きい。穀類は8.1%を占めるが、2000年の9.3%から1.2ポイントの減少である。このうち、米の支出割合は2000年の4.1%から2.4%と、1.7ポイントの大きな減少である。対照的に伸びているパンとは、占める割合が逆転している。生鮮野菜は7%とその占める割合は変わらない。最も減少が顕著なのは魚介類で4ポイントの減少。また、生鮮果物も2000年の4.4%から3.7%と、同じく酒類も5.1%から4.2%と、消費支出における割合が減少した品目となっている。(K.O)

表 2人以上の世帯における食料支出金額 2000年と2019年の対比

項目	2000年		2019年		増減※※
	金額(円)	割合(%)※	金額(円)	割合(%)※	
消費支出	3,807,937	—	3,520,547	—	92.5※※※
食料	973,680	25.5※※※※	965,536	27.4※※※※	1.9
穀類	90,892	9.3	78,421	8.1	-1.2
内 米	40,256	4.1	23,212	2.4	-1.7
パン	27,512	2.8	32,164	3.3	0.5
麺類	18,771	1.9	17,713	1.8	-0.1
魚介類	110,868	11.4	73,862	7.6	-4.0
肉類	81,140	8.3	89,365	9.3	1.0
乳卵類	45,407	4.7	46,006	4.8	0.1
野菜・海藻	112,206	11.5	103,533	10.7	-0.8
内 生鮮野菜	67,727	7.0	67,901	7.0	0
果物	44,647	4.6	39,032	4.0	-0.6
内 生鮮果物	42,544	4.4	35,742	3.7	-0.7
油脂・調味料	40,637	4.2	43,649	4.5	0.3
菓子類	78,532	8.1	87,469	9.0	0.9
調理食品	99,691	10.2	128,386	13.3	3.1
飲料	46,237	4.7	58,174	6.0	1.3
酒類	49,994	5.1	40,721	4.2	-0.9
外食	173,430	17.8	176,917	18.3	0.5

注：割合(%)※は、食料費に占める各品目の割合。増減※※は、食料費に占める2019年-2000年の割合の増減。
※※※は、2000年に対する2019年の消費支出の割合。※※※※は、全消費支出に占める食料の割合。